

第4 慰 霊 と 追 悼

第4 慰 霊 と 追 悼

1 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典



長崎市では、毎年、原爆が投下された8月9日に松山町平和公園の平和祈念像前において、原爆犠牲者を慰霊し、あわせて世界恒久平和の実現を祈って長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典を举行している。

式典は、原爆被爆者、原爆犠牲者の遺家族をはじめ、多くの市民が参列し、長崎市長の長崎平和宣言は、国連加盟の各国元首をはじめとし、全国の地方公共団体等へ送るとともに、インターネットを通じ全世界に発信し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けている。式典の様子は、平成 23 年からインターネットで同時配信をしている。

被爆79周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 式次第

開 式	10:45
原爆死没者名奉安	10:46
式 辞	10:48
献 水	10:52
献 花	10:54
黙 と う	11:02
長崎平和宣言	11:03
平和への誓い	11:12
児童合唱	11:19
来賓挨拶	11:24
合唱 千羽鶴	11:40
閉 式	11:45

長崎平和宣言

原爆を作る人々よ！
しばし手を休め 眼をとじ給え
昭和二十年八月九日！
あなた方が作った 原爆で
幾万の尊い生命が奪われ
家 財産が一瞬にして無に帰し
平和な家庭が破壊しつくされたのだ
残された者は
無から立ち上がらねばならぬ
血みどろな生活への苦しい道と
明日をも知れぬ”原子病”の不安と
そして肉親を失った無限の悲しみが
いついつまでも尾をひいて行く

これは 23 歳で被爆し、原爆症と闘いながらも原爆の悲惨さを訴えた長崎の詩人・福田須磨子さんが綴った詩です。

家族や友人を失った深い悲しみ、体に残された傷跡、長い年月を経ても細胞を蝕み続け、さまざまな病気を引き起こす放射線による影響、被爆者であるが故の差別や生活苦。原爆は被爆直後だけでなく、生涯にわたり被爆者を苦しめています。

それでも被爆者は、「世界中の誰にも、二度と同じ体験をさせない」との強い決意で、苦難とともに生き抜いた自らの体験を語り続けているのです。

被爆から 79 年。私たち人類は、「核兵器を使ってはならない」という人道上の規範を守り抜いてきました。しかし、実際に戦場で使うことを想定した核兵器の開発や配備が進むなど、核戦力の増強は加速しています。

ロシアのウクライナ侵攻に終わりが見えず、中東での武力紛争の拡大が懸念される中、これまで守られてきた重要な規範が失われるかもしれない。私たちはそんな危機的な事態に直面しているのです。

福田さんは詩の最後で、こう呼びかけました。

原爆を作る人々よ！
今こそ ためらうことなく
手の中にある一切を放棄するのだ
そこに初めて 真の平和が生まれ
人間は人間として蘇ることが出来るのだ

核保有国と核の傘の下にいる国の指導者の皆さん。核兵器が存在するが故に、人類への脅威が一段と高まっている現実を直視し、核兵器廃絶に向け大きく舵を切るべきです。そのためにも被爆地を訪問し、被爆者の痛みと思いを一人の人間として、あなたの良心で受け止めてください。そしてどんなに陰しくても、軍拡や威嚇を選ぶのではなく、対話と外交努力により平和的な解決への道を探ることを求めます。

唯一の戦争被爆国である日本の政府は、核兵器のない世界を真摯に追求する姿勢を示すべきです。そのためにも一日も早く、核兵器禁止条約に署名・批准することを求めます。そして、憲法の平和の理念を堅持するとともに

に、北東アジア非核兵器地帯構想など、緊迫度を増すこの地域の緊張緩和と軍縮に向け、リーダーシップを発揮することを求めます。

さらには、平均年齢が 85 歳を超えた被爆者への援護のさらなる充実と、未だ被爆者として認められていない被爆体験者の一刻も早い救済を強く要請します。

世界中の皆さん、私たちは、地球という大きな一つのまちに住む「地球市民」です。

想像してください。今、世界で起こっているような紛争が激化し、核戦争が勃発するとどうなるのでしょうか。人命はもちろんのこと、地球環境にも壊滅的な打撃を与え、人類は存亡の危機に晒されてしまいます。

だからこそ、核兵器廃絶は、国際社会が目指す持続可能な開発目標（SDGs）の前提ともいえる「人類が生き残るための絶対条件」なのです。

ここ長崎でも、核兵器のない世界に向けて、若い世代を中心とした長年の動きがさらに活発になっています。今年5月には、若者版ダボス会議と呼ばれる国際会議「ワン・ヤング・ワールド」の平和をテーマとした分科会が、初めて長崎で開催されました。

世界の若い世代が主役となって連帯し、行動する輪が各地で広がっています。それは、持続可能な平和な未来を築くための希望の光です。

平和をつくる人々よ！

一人ひとりには微力であっても、無力ではありません。

私たち地球市民が声を上げ、力を合わせれば、今の難局を乗り越えることができる。国境や宗教、人種、性別、世代などの違いを超えて知恵を出し合い、つながり合えば、私たちは思い描く未来を実現することができる。長崎は、そう強く信じています。

原子爆弾により亡くなられた方々に心から哀悼の誠を捧げます。

長崎は、平和をつくる力になろうとする地球市民との連帯のもと、他者を尊重し、信頼を育み、話し合いで解決しようとする「平和の文化」を世界中に広めます。そして、長崎を最後の被爆地にするために、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けてたゆむことなく行動し続けることをここに宣言します。

2024 年（令和 6 年）8 月 9 日

長 崎 市 長 鈴 木 史 朗

平和への誓い

11時2分、止まったままの柱時計を見るたびに79年前の悪夢がよぎります。

当時、私は10歳。夏休み中で、午前中に警報が解除され、母と祖母は洗濯と炊事を始めていました。私は家にあったオルガンで、B29の爆音を真似して、ブーンブーンブーンと音を出して遊んでいました。それを聞いていた祖母が飛んできて「敵機が来たと間違われるから止めなさい。」と叱られ、渋々オルガンの蓋を閉めて立ち上がろうとした時、ピカッと眩しい閃光が走りました。とっさに学校で教わった通り、指で両耳・両目を押さえ、オルガンの前に伏せました。次の瞬間、ドーンと鈍い音が響き、続いて爆風が家の中を吹き抜けるのが解りました。その間、恐怖に怯えながらじっと堪えていました。やがて静かになったので、恐る恐る頭を上げて辺りを見廻すと、惨憺たる有様で、太陽が落ちてきたと思いあ然としていると、洗濯していた母が狂ったように子供たちを捜し始めました。我が家は8人家族、幸いにも全員無傷でした。

数日かけて家の中を片付け、当時通っていた伊良林国民学校の事が気になり、友人と様子を見に行きました。目に入ったのは、「水を下さい、水を飲ませて下さい。」と弱り切った声で懇願している、男女の区別もつかないほど血だらけの人や上半身裸で傷を負った人でした。体育館に運び込まれた人たちは、誰かが手当てをしたり水を飲ませたりすることもなく、ただ寝かされているだけで、体育館の中は夏の暑さと漂う異臭で地獄のような状態でした。先程まで苦しさにわめいていた人が急に静かになったと思ったら、既に息絶えており、大人が頭と足を抱えて校庭に運び出し、穴を掘り、板の上に遺体を載せて焼いていきました。自分の学校が死体処理場になった光景は、今でも忘れることができません。

あれから79年、私たち被爆者は健康不安に怯えながら、核廃絶を訴えて来ました。しかしながら、海外に目を向けると、ウクライナやパレスチナなど戦火は収まるばかりか泥沼化しており、多くの子供たちが命を落としています。この悲しい現実を目の当たりにして、戦争の愚かさから目をそらすことは出来ません。平和の尊さを痛感する毎日です。

現在地球上には推定1万2120発の核弾頭が存在すると言われており、世界においては核兵器の使用が示唆されるなど、一触即発の緊張が続いています。万一使用されるとこの地球がとんでもない状態になる可能性さえあります。本日も列席の岸田内閣総理大臣へ申し上げます。子供や孫たちが安心して過ごせる青い地球を遺していくために、被爆国日本こそが、核廃絶を世界中の最重要課題として、真摯に向き合うことを願ってやみません。

私は、2015年から長崎平和推進協会の語り部として、長崎を訪れる修学旅行生や次世代を担う若者たちに核兵器の恐怖を語り続けており、2023年から英語による活動も始めました。平和とは何かを皆さんと一緒に考え、可能な限り続けてまいる所存です。最後に「peace is a world heritage shared by all humankind (平和は人類共有の世界遺産である)」と申し上げ、亡き御霊へ捧げる平和への誓いの言葉といたします。

2024年（令和6年）8月9日

被爆者代表 三瀬 清一郎

原爆犠牲者慰霊平和祈念式典の推移

年 度	名 称	主 催	場 所	開始時間	摘 要
S 21	長崎市戦災死没者 慰 霊 祭	遺 族 有 志	松山町爆 心地付近	午前 10:00	工場関係、長崎医大、皓台寺、諏訪神社など でそれぞれ行った
S 22	原 爆 殉 難 者 3 回 法 要 忌	長崎戦災者 連 盟	駒 場 町	午前 10:20	碑名「戦災殉難者の霊」喪主 岡田市長
	大 供 養 会	連合青年団 仏 教 連 盟	松 山 町	午後 5:00	花火、盆踊り
S 23	文 化 祭	長 崎 市	松 山 町	午前 10:00	軍政府、マッカーサーメッセージ 市民代表（副議長）による平和宣言 喪主 大橋市長
	供 養 会	戦災者連盟	同 上	午後 2:00	
	原 爆 死 者 追 悼 大 法 要	仏 教 会	大 音 寺	午後 10:00	遺族を招待
S 24	文化記念式典	長 崎 市	松山公園	午前 10:30	原爆供養塔に大橋市長供花 市長による平和宣言
	慰 霊 祭			午前 8:00	ペーロン大会、盆おどり大会
S 25	(中 止)				市議会準備委員会により市の主催する文化祭 行事は一切中止
S 26	慰 霊 祭	市戦災者連盟、市 連合青年団、市仏 教連合会	松山公園	午前 10:30	万灯流し、盆おどり（競輪場）
	文 化 祭	長崎平和運 動推進会議	本大工町 グランド	午後 6:00	平和宣言
S 27	原爆犠牲者法要並 びに平和祈念式典	長 崎 市、 原 爆 供 養 奉 賛 会	松山公園	午前 10:30	喪主田川市長夫妻、放鳩
	平 和 祈 念 祭	長 崎 市	三菱会館	8月8日 午後 6:00	平和宣言（前夜祭）
S 28	原爆犠牲者供養並 びに平和祈念式典	長崎市原爆 慰霊奉賛会	松山公園	午前 10:00	
	原爆犠牲者慰霊祭	長 崎 市 宗 教 連 盟	同 上	午後 6:30	（宗教行事の分離）
	平 和 の 夕	長 崎 市	三菱会館	8月8日 午後 6:00	平和宣言（前夜祭）
S 29	原爆犠牲者供養並 びに平和祈念式典	長 崎 市	松山公園	午前 10:40	クス玉が割れ鳩が飛んだ
	慰 霊 祭	長崎市宗教 連 盟	同 上	午前 9:40	
S 30	平和祈念像除幕式	長 崎 市	平和公園	8月8日 午前 10:00	
	原爆犠牲者慰霊並 びに平和祈念式典	長崎市原爆 慰霊奉賛会	同 上	午前 10:40	（10 周年記念）
S 31 ～47	原爆犠牲者慰霊並 びに平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:30	31 年 献茶式（長崎市婦人会） 33 年 式典の一本化で式典協議会が発足する 37 年 献吟が加わる 38 年 雨天により会場を国際文化会館講堂に変 更。放鳩を除き、予定のプログラムで進 行した 43 年 原爆被爆者対策課の所管となる 45 年 （25 周年行事） 1 慰霊行事と平和祈念式典を分離する 2 従来の花輪の飾り付けをやめて、生花と する 3 遺族へ敬供品を配布した 4 精霊船を流した 47 年 広島・長崎の式典相互参列が行われる

年 度	名 称	主 催	場 所	開始時間	摘 要
S 48 ～53	原爆犠牲者慰霊 平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:50	48年 世界平和祈念旬間行事実行委員会が発足し、式典協議会が発展的解消する 50年 (30 周年行事) 1 生花飾付デザインを公募、デザインを改める 2 原爆犠牲者追悼市民盆踊りを実施 (7 日公会堂前公園) 51年 三木内閣総理大臣が現職として初めて臨席される 52年 アメラシング国際連合総会議長が国連代表として初めて臨席される
S 54 ～H 3	原爆犠牲者慰霊 平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:45	54年 1 イギリス人被爆者ロナルド・E・ブライヤー氏が参列 2 市内小・中・高校生代表が参列し、供花を行う 3 平和公園で初めて原爆写真展を開催 55年 (35 周年行事) 1 生花飾付デザインを公募、デザインを改める 2 外国人被爆者代表 4 人が参列し、献花を行う レネ・シェーファー氏 (蘭)、ピーター・マックグラスカー氏 (豪)、黄八氏 (韓)、季奇相氏 (北朝) 56年 1 ジャーゲン・オンケン氏 (オランダ人被爆者) が参列 2 国際軍縮促進議員連盟代表が参列、供花 3 原爆死没者全国遺族代表が参列、供花 4 国連軍縮センター所長が参列、供花 5 市内・小・中・高校生が「平和への願い」を唱和 57年 1 鈴木内閣総理大臣が臨席 2 7.23 長崎大水害死没者 (71 人) の名簿も奉安 3 在米被爆者 2 人が参列、供花 59年 中曽根内閣総理大臣が臨席 60年 (40 周年記念) 1 生花飾付デザインを公募、デザインを改める 2 世界平和連帯都市市長会議代表が参列、供花 61年 中曽根内閣総理大臣が臨席 62年 小・中型テント及び長机・椅子の設置撤収作業を業者に委託 63年 大型テントの設置撤収作業を業者に委託 元年 デクエヤル国連事務総長メッセージを明石国連事務次長が代読 2年 (45 周年記念) 1 生花飾付デザインを公募、デザインを改める 2 60 年実態調査で判明した死没者 6,378 人を含む 8,692 人の名簿を奉安 3 海部内閣総理大臣が臨席

年 度	名 称	主 催	場 所	開始時間	摘 要
S 54 ～H 3	原爆犠牲者慰霊 平和 祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:45	4 非核都市宣言自治体連絡協議会代表が参 列、供花 3年 1 式典の司会を中学生が行う 2 長崎市内 5 カ所を選定し、献水を行う 3 来賓者のためにモニターを設置する 4 開式・閉式に英語ナレーションを行う
H 4 ～6	原爆犠牲者慰霊 平和 祈念式典	長 崎 市	長崎市営 ラグビー・ サッカー場	午前 10:45	4年 1 H 4～6 にかけて、平和公園の工事、地 下駐車場新設、無縁死没者追悼祈念堂の 建設が併せて実施されたことから、会場 を平和公園内から長崎市営ラグビー・ サッカー場に移して開催 2 宮澤内閣総理大臣が臨席 5年 1 昨年に引き続き長崎市営ラグビー・サッ カー場において開催 2 ストヤン・ガーネフ国連総会議長が参列 6年 1 長崎市営ラグビー・サッカー場において 開催 2 村山内閣総理大臣が臨席
H 7 ～11	原爆犠牲者慰霊 平和 祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:45	7年 (被爆 50 周年) 1 会場を平和公園 (祈念像前) に移して開 催 2 生花飾付デザインを公募、デザインを改 める 3 村山内閣総理大臣、土井衆議院議長、斎 藤参議院議長、草場最高裁長官の三権 の長が臨席 4 50 周年事業として、韓国人被爆者 10 人を 式典に招請 5 新式典歌「千羽鶴」を合唱 8年 橋本内閣総理大臣が臨席 9年 世界平和連帯都市市長会議代表が献花 10年 小淵内閣総理大臣が臨席 11年 手話通訳者を配置
H12 ～16	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:45	12年 1 森内閣総理大臣が臨席 2 政党代表が参列、献花 13年 1 小泉内閣総理大臣が臨席 2 ブリックホール会場を設置し、大型モ ニターで式典生中継 3 来賓挨拶は首相と県知事のみとし、式典 の時間を短縮 4 世界平和連帯都市市長会議代表が献花 14年 1 小泉内閣総理大臣が臨席 2 平和の泉での献水用の水を小学生、中学 生、高校生代表の子供達が採水 3 昨年に引き続きブリックホール会場にお いても開催 15年 1 小泉内閣総理大臣が臨席 2 ろうあ被爆者による「平和への誓 3 台風 19 号の接近に伴い小・中・高校生代 表による献水用の採水中止、職員 100 名 を追加動員し、9 日早朝より会場設営 4 ブリックホール会場に加え、7 月に オープンした国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館地下 1 階ラウンジにて式典 映像放映

年 度	名 称	主 催	場 所	開始時間	摘 要
H12 ～16	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:45	5 世界平和市長会議代表が献花 16 年 1 小泉内閣総理大臣が臨席 2 政党代表が参列、献花
H17 ～21	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:40	17 年 (被爆 60 周年) 1 小泉内閣総理大臣が臨席 2 最高裁判所長官、駐日ロシア大使、駐 日ウクライナ大使が参列、献花 3 市内小学校、中学校の児童・生徒の参列 4 在外被爆者の招請 (韓国 5 人、ブラジ ル 2 人、アメリカ 1 人) 5 参列者の増加に伴う 開式時間の変更 (10 時 40 分開式) 18 年 1 小泉内閣総理大臣が臨席 2 駐日オーストラリア大使、駐日ニュー ジーランド大使、駐日南アフリカ共和 国大使、駐日アイルランド臨時代理大 使、在日ドイツ連邦共和国大使館公 使、メキシコ合衆国外務省国連システ ム局長、在大阪ロシア連邦総領事が参 列 3 市内の小中高校、短期大学、大学 (国 公立、市立問わず) の児童及び学生の 参列 19 年 1 安倍内閣総理大臣が臨席 2 パキスタン・イスラム共和国代表、ロ シア連邦代表ほか 13 カ国が参列 3 市内の小中高校、短期大学、大学 (国 公立、市立問わず) の児童及び学生の 参列 20 年 1 福田内閣総理大臣が臨席 2 ロシア連邦代表ほか 7 カ国が参列 3 若い世代へ原爆被爆の実相の継承と平 和への関心を高めるため、H7 年以降司 会を務めていた市立の長崎商業高校の 生徒以外の高校の生徒が式典の司会を 行う。(長崎県立長崎西高等学校) 4 市内の小中高校、短期大学、大学の児 童及び学生の参列 21 年 1 麻生内閣総理大臣が臨席 2 ミゲル・デスコト・ブロックマン国連 総会議長が臨席 3 ロシア連邦代表ほか 28 カ国が参列 4 式典の司会、長崎県立長崎東高等学校 5 市内の小中高校、短期大学、大学の児 童及び学生の参列 6 平和首長会議代表が献花 7 日本非核宣言自治体協議会代表が献花

年 度	名 称	主 催	場 所	開始時間	摘 要
H22 ～29	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前10:35	22年 - 菅内閣総理大臣が臨席 - 天野之弥国際原子力機関事務局長が臨席 - ロシア連邦代表、英国代表、フランス代表、パキスタン・イスラム共和国代表、イスラエル代表ほか27カ国が参列 - 式典の司会、長崎県立長崎工業高等学校 - 被爆者合唱団による合唱を実施 - 在外被爆者の招請（韓国2人） - 市内の小中高校、短期大学、大学の児童及び学生の参列 - 日本非核宣言自治体協議会代表が献花
					23年 - 菅内閣総理大臣が臨席 - 米国代表、ロシア連邦代表、英国代表、フランス代表、イスラエル代表ほか39カ国が参列 - 式典の司会、長崎県立長崎南高等学校 - 被爆者合唱団による合唱を実施 - 市内の小中高校、短期大学、大学の児童及び学生の参列 - 包括的核実験禁止条約機関（CTBT）準備委員会代表献花 - IAEA 代表献花 - インターネット同時配信（日本語版）を実施
					24年 - 野田内閣総理大臣が臨席 - 米国代表、英国代表、フランス代表、イスラエル代表ほか38カ国が参列 - 式典の司会、長崎県立長崎北高等学校 - 被爆者合唱団による合唱を実施 - 市内の小中高校、短期大学、大学の児童及び学生の参列 - 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 - 包括的核実験禁止条約機関（CTBT）準備委員会代表献花 - インターネット同時配信（日本語版）を実施
					25年 - 安倍内閣総理大臣が臨席 - 米国代表、ロシア連邦代表、英国代表、フランス代表、インド代表、イスラエル代表ほか38カ国が参列 - 式典の司会、長崎県立長崎明誠高等学校 - 被爆者合唱団による合唱を実施 - 市内の小中高校、短期大学、大学の児童及び学生の参列 - 平和首長会議代表献花 - インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施

年 度	名 称	主 催	場 所	開始時間	摘 要
H22 ～29	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前10:35	26年 1 安倍内閣総理大臣が臨席 2 米国代表、ロシア連邦代表、フランス代表、中国代表、インド代表、イスラエル代表を含む48カ国が参列 3 台風11号の接近により8月8日に大テントを降納し実施、式典前に各団体が行うセレモニー（献茶式等）は中止 4 式典の司会、活水高等学校 5 被爆者合唱団による合唱を実施 6 市内の小中高校、短期大学、大学の児童及び学生の参列 7 国際海事機関（IMO）代表献花 8 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 27年 （被爆70周年） 1 安倍内閣総理大臣が臨席 2 最高裁判所長官、国際赤十字・赤新月社盟会長、マレーシア元首相が参列、献花 3 核保有国9カ国を含む75カ国が参列 4 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 5 在外被爆者の招請（韓国2人、米国1人、ブラジル1人） 6 平和首長会議副会長都市であるモンテニルパ（フィリピン）、マラコフ（フランス）の2市が参列 7 式典の司会、長崎市立長崎商業高等学校 8 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 9 暑さ対策のため、大テントにミストを設置 28年 1 安倍内閣総理大臣が臨席 2 ドイツ連邦議会副議長が参列、献花 3 核保有国8カ国含む53カ国が参列 4 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 5 式典の司会、純心女子高等学校 6 大学生が原爆死没者名を奉安 7 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 8 暑さ対策のため、大テントにミストを設置 9 サブ会場を国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジから長崎原爆資料館ホールに変更 29年 1 安倍内閣総理大臣が臨席 2 米国代表、ロシア連邦代表、英国代表、フランス代表、中国代表、イスラエル代表含む58カ国が参列 3 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 4 平和首長会議代表が献花 5 式典の司会、長崎県立長崎西高等学校 6 大学生が原爆死没者名を奉安 7 平和への誓い代表者を公募 8 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 9 暑さ対策のため、大テントにミストを設置 10 サブ会場を2箇所設置（ブリックホール・長崎原爆資料館ホール）

年 度	名 称	主 催	場 所	開始時間	摘 要
H30 ～R 1	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:40	30年 1 安倍内閣総理大臣が臨席 2 グテーレス国際連合事務総長が参列、献花、来賓挨拶 3 核保有国 8 カ国含む 71 カ国が参列 4 式典の司会、長崎女子商業高等学校 5 大学生が原爆死没者名を奉安 6 平和への誓い代表者を公募 7 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 8 暑さ対策のため、大テントにミスト、ミスト付扇風機、氷柱を設置 9 サブ会場を 2 箇所設置（ブリックホール・長崎原爆資料館ホール） 元年 1 安倍内閣総理大臣が臨席 2 米国代表、ロシア連邦代表、英国代表、フランス代表、中国代表、イスラエル代表含む 66 カ国が参列 3 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 4 式典の司会、長崎県立長崎東高等学校 5 大学生が原爆死没者名を奉安 6 平和への誓い代表者を公募 7 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 8 暑さ対策のため、大テントにミスト、ミスト付扇風機、氷柱を設置 9 サブ会場を 2 箇所設置（ブリックホール・長崎原爆資料館ホール）
R 2 ～ 3	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:45	2年 （被爆 75 周年） 1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催（500 席程度、一般参列を制限） 2 安倍内閣総理大臣が臨席 3 米国代表、ロシア連邦代表、英国代表、フランス代表、イスラエル代表含む 68 カ国が参列 4 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 5 式典の司会、瓊浦高等学校 6 大学生が原爆死没者名を奉安 7 平和への誓い代表者を公募 8 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 9 暑さ対策のため、大テントにミスト、ミスト付扇風機を設置 10 サブ会場を 2 箇所設置（ブリックホール・長崎原爆資料館ホール） 3年 1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催（500 席程度、一般参列を制限） 2 菅内閣総理大臣が臨席 3 米国代表、ロシア連邦代表、英国代表、フランス代表、中国代表、インド代表、イスラエル代表含む 63 カ国が参列 4 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 5 式典の司会、長崎工業高等学校

年 度	名 称	主 催	場 所	開始時間	摘 要
R 2 ～ 3	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平 和 公 園	午前 10:45	6 平和への誓い代表者を公募 7 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 8 暑さ対策のため、大テントにミスト、ミスト付扇風機を設置 9 サブ会場を 2 箇所設置（ブリックホール・長崎原爆資料館ホール）
R 4	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平和公園	午前 10:40	4年 1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催した過去 2 年から一部規模を拡大して実施（1,700 席程度） 2 岸田内閣総理大臣が臨席 3 米国代表、英国代表、フランス代表、中国代表、インド代表、イスラエル代表含む 83 カ国が参列 4 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 5 式典の司会、海星高等学校 6 被爆者合唱団による合唱を実施 7 平和への誓い代表者を公募 8 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 9 暑さ対策のため、大テントにミスト、ミスト付扇風機を設置 10 サブ会場をブリックホールから出島メッセ長崎に変更し、長崎原爆資料館ホールとともに 2 箇所設置
R 5	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	出島メッセ 長崎	午前 10:45	5年 1 台風のため屋内会場での開催（60 年ぶり） 2 台風のため市職員及び市議会議員のみ参列 3 岸田内閣総理大臣からビデオメッセージ 4 国際連合事務総長名代来賓挨拶（代読） 5 平和への誓い代表者を公募 6 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施
R 6	長崎原爆犠牲者 慰霊平和祈念式典	長 崎 市	平 和 公 園	午前 10:45	6年 1 岸田内閣総理大臣が臨席 2 米国代表、英国代表、フランス代表、中国代表、含む 100 カ国が参列 3 国際連合事務総長名代献花、来賓挨拶 式典の司会、長崎県立長崎南高等学校 4 平和への誓い代表者を公募 5 インターネット同時配信（日本語版・英語版）を実施 6 暑さ対策のため、大テントにミスト、ミスト付扇風機を設置 サブ会場を 2 箇所設置（出島メッセ長崎・長崎原爆資料館ホール）

2 原爆死没者名の奉安

(1) 奉安の経緯

昭和43年8月、松山町平和公園の平和祈念像前に「原爆殉難者名奉安所」を設置した。この奉安所には、原子爆弾によって犠牲となられた人々を慰霊し、その氏名を永久に記録して人類の恒久平和を祈念するため、「原爆死没者名簿」が納められた。

平成9年8月1日、平和公園（中心地地区）の再整備工事に伴い、奉安所が原子爆弾落下中心地碑前に移設され、マイクロフィルム化された原爆死没者名簿が納められることとなった。

平成15年7月からは、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の追悼空間に設置された名簿棚に、原爆死没者名簿を納めている。（同年8月から、氏名が判明していない原爆死没者を慰霊するために、白紙名簿1冊を追加して納めている。）

奉安される死没者は、長崎市に投下された原爆により直接死亡された方々や被爆者でその後死亡された方々で、原爆死没者名簿には198,785人（令和6年8月9日現在）が登載されている。

遺族からの申請や調査により判明した方々については、新たに死没者名簿に記載し、毎年8月9日の原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で追加奉安している。マイクロフィルム化した原爆死没者名簿も、例年8月9日の平和祈念式典と並行して奉安所に奉安している。

長崎原爆死没者名の奉安数（毎年8月9日現在）

（単位：人）

年度	男	女	合 計	削 除	累 計	年度	男	女	合 計	削 除	累 計
43			26,902		26,902	9	3,920	3,711	7,631	△ 1	115,669
44			12,649		39,551	10	1,625	1,561	3,186		118,855
45			2,150		41,701	11	1,328	1,405	2,733		121,588
46			2,035		43,736	12	1,312	1,291	2,603		124,191
47			1,717		45,453	13	1,225	1,214	2,439		126,630
48	686	552	1,238		46,691	14	1,224	1,340	2,564	△ 1	129,193
49	566	546	1,112		47,803	15	1,267	1,425	2,692		131,885
50	537	517	1,054		48,857	16	1,361	1,346	2,707		134,592
51	579	574	1,153		50,010	17	1,383	1,365	2,748	△ 1	137,339
52	612	598	1,210		51,220	18	1,366	1,465	2,831	△ 26	140,144
53	621	613	1,234		52,454	19	1,466	1,603	3,069	△ 89	143,124
54	625	638	1,263		53,717	20	1,406	1,652	3,058	△ 198	145,984
55	685	701	1,386		55,103	21	1,590	1,714	3,304	△ 22	149,266
56	796	791	1,587		56,690	22	1,517	1,597	3,114	△ 104	152,276
57	1,029	859	1,888		58,578	23	1,504	1,784	3,288	△ 18	155,546
58	1,846	1,545	3,391		61,969	24	1,542	1,763	3,305	△ 97	158,754
59	1,195	1,022	2,217		64,186	25	1,603	1,801	3,404	△ 75	162,083
60	1,297	1,117	2,414		66,600	26	1,538	1,817	3,355	△ 29	165,409
61	3,811	2,397	6,208		72,808	27	1,510	1,863	3,373	△ 15	168,767
62	1,233	1,126	2,359		75,167	28	1,510	1,977	3,487	△ 24	172,230
63	1,214	1,081	2,295		77,462	29	1,522	2,029	3,551	△ 38	175,743
H元	1,178	1,094	2,272		79,734	30	1,562	1,949	3,511	△ 28	179,226
2	4,648	4,044	8,692		88,426	R元	1,486	1,916	3,402	△ 27	182,601
3	1,228	1,202	2,430		90,856	2	1,521	1,885	3,406	△ 25	185,982
4	2,408	2,584	4,992	△ 3	95,845	3	1,336	1,866	3,202	△ 21	189,163
5	1,698	1,702	3,400		99,245	4	1,363	1,797	3,160	△ 13	192,310
6	1,544	1,486	3,030		102,275	5	1,430	1,884	3,314	△ 17	195,607
7	1,526	1,547	3,073		105,348	6	1,325	1,875	3,200	△ 22	198,785
8	1,340	1,351	2,691		108,039						

（注）昭和43年度から昭和47年度までは、男女の内訳は不明である。削除欄の△は、重複、生存判明等により名簿から削除した人数を表す。

(2) 原爆死没者名簿

令和 6 年 8 月 9 日現在

- ・ 長崎市原爆死没者名簿 202 冊（198,785 人。白紙 1 冊を含む。）
- ・ 長崎市広島原爆死没者名簿 1 冊（105 人。広島に投下された原爆により直接死亡された方や被爆してその後死亡された方で、長崎市で原爆死没者名の奉安を希望された方の名簿。平成 21 年度から登載開始。）

(3) 原爆殉難者名奉安所の経緯

年 月	経 緯
昭和 43 年 8 月	松山町平和公園の平和祈念像前に「原爆殉難者名奉安所」が設置され、原爆死没者名簿が納められた。
平成 7 年 2 月	平和祈念像前公園整備工事に伴い、原爆死没者名簿は「長崎市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂」に仮奉安された。
平成 9 年 8 月	平和公園（中心地地区）の整備工事が完了し、原子爆弾落下中心地碑前に「原爆殉難者名奉安」箱が移設され、原爆死没者名簿をマイクロフィルム化し、ここに永久保存されることとなった。

※ 平成 15 年 7 月、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の開館に伴い、原爆死没者名簿を同館地下 2 階追悼空間死没者名簿棚に安置。



施設の概要（令和 6 年 8 月 9 日現在）

名 称	原爆殉難者名奉安所
場 所	長崎市松山町
供用開始	平成 9 年 8 月 1 日
長崎市原爆死没者名奉安数	198,785 人
長崎市広島原爆死没者名簿奉安数	105 人

3 長崎市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂

(1) 長崎市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂への無縁遺骨の安置状況

年	経緯
昭和22年	城山町の篤志家の手により、駒場町に「原爆殉難死者納骨堂」が建設され、爆心地付近に散在していた多くの原爆死没者の遺骨を収集し、安置した。
昭和30年	県下各地に散在する無縁仏の遺骨を引き取ることを計画、県下各市町村につき調査した結果、各地の共同墓地等に多数埋葬されている引き取り手のない無縁遺骨が判明したので、ただちに民生委員協議会と共同で引き取った。 ・遺骨引取数 354柱
昭和34年	「原子爆弾死没者慰霊納骨堂」が完成 ・安置遺骨数 8,863柱 うち氏名判明分 275柱
平成4年	平和公園地下駐車場工事に併せて、納骨堂も建て替えることになり、解体された。安置していた無縁遺骨8,931柱は西立神町の長寿院に仮安置された。
平成6年	「長崎市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂」の完成 ・安置遺骨数 8,931柱 うち氏名判明分 129柱



施設の概要（令和7年3月31日現在）

名称	長崎市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂
場所	長崎市岡町8番5号
落成	平成6年7月22日
安置遺骨数	8,962柱 うち氏名判明分 120柱

ア 概 要

イ 調査対象

ウ 調査結果

【参考】ポスターによる全国的な遺族調査開始時の無縁遺骨数

8.935柱（うち氏名判明者159柱）（平成3年4月1日時点）

(单位: 柱)

年 度	遺骨引渡数	氏名抹消
H2	3	6
3	2	5
4	0	0
5	0	13
6	2	0
7	1	0
8～10	0	0
11	2	0
12	1	0
13	0	0
14	1	0
15～17	0	0
18	2	0
19～R5	0	0
R6	2	0
計	16	24

*新たに安置した遺骨数 43柱

平成4年度 本尾町より発見 1柱

平成8年度 平和公園再整備工事より発見 4柱

平成11年度 扇町より発見 1柱

平成17年度 個人より引取 34柱

平成21年度 個人より引取 1 柱

平成23年度 個人より引取 2 柱

* 令和7年3月31日現在 無縁遺骨数 8,962柱

(うち氏名判明者 120柱)

後	近	小	慶	黒	呉	限	久	清	北	北	河	河	川	川	金	金	金	梶
藤	藤	林	原	瀬	原	保	浜	村	村	本	村	口	内	原	城	子	谷	原
格	ス	初	柄	ミ	正	ヒ	ハシ	俊	徳	義	延	マ	徳	静				重
治	ツ	子	明	セ	メ	夫	ハシ	一郎	子	義	人	子	豊	次	次	枝	進	雄

(俄
和太郎)

表
小奥梅梅内岩岩伊石
田山本津園山下藤川

(池山)
佐知夫

池山新荒東
井田井井井

英

永瀬政子	(中村松美)	中村久志	中村三鉄	中村一郎	な行	富山東保	(徳永初)	徳永弥太郎	出川口	辻春雄	田中幸男	田中信鶴	田中静弘	立木重雄	田崎忠雄	田川シズカ	高柳才次郎	(高木寅一)	高本寅一	た行	宗永ヨシエイ	末(白木勝三)	白石トク吉	島田米吉	島田秋男	沢田幸英	佐藤幸夫	笹内カメヲ
------	--------	------	------	------	----	------	-------	-------	-----	-----	------	------	------	------	------	-------	-------	--------	------	----	--------	---------	-------	------	------	------	------	-------

[illegible]

三根 ツキ子
宮田 敏子
三輪 繁子
明 富士枝
村山 文治
森 太郎
森 常一
八木 渉子
八木 春美
安田 政美
柳野 義男
矢野 嘉市
山口 鉄夫
山口 秀雄
山口 博
山口 律
山田 重太郎
山田 チツ子
山中 シズエ
山田 (山口) シズエ
吉田 増夫
吉原 豊子
和平方ツ子
(二二〇名)

4 原爆死没者慰霊等事業

(1) 趣 旨

国においては原爆死没者を慰霊し、永遠の平和を祈念するため、平成3年度から全国各地の地域・職域単位で開催される原爆死没者慰霊式典等の事業に対する助成制度を創設し、「原爆死没者慰霊等事業実施要綱」（平成3年8月5日施行）に基づき実施している。

助成の方法は、都道府県、広島市及び長崎市が実施する事業ならびに助成する事業に対し、一定の補助金を交付しようとするものである。

そこで、本市においても、国の実施要綱に基づき「長崎市原爆死没者慰霊等事業費補助金交付要綱」を平成4年4月20日に制定・施行し、国の制度に対応して実施している。

(2) 補助対象事業

原爆死没者に対する慰霊等を目的として実施される事業のうち、次に掲げるもの。

- ・慰霊式典
- ・慰霊碑の建設
- ・既存の慰霊碑の改良、補修又は移設
- ・死没者を悼む出版物の刊行
- ・死没者を悼む遺品展、絵画展等各種イベント

(3) 補助対象者

自治会、事業所、学校などの地域・職域団体

(4) 補助金の額

補助対象事業に要する経費の4分の3を超えない範囲で市長が定める額

(5) 令和6年度実績

- ・慰霊式典5件、イベント8件、出版1件、計14件
- ・補助金交付確定額 4,227,932円